

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301315
事業所名	生協あじまの家グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。近隣の畑に出かける際や散歩時に気軽に挨拶を交わし、うどん屋や喫茶店等と顔馴染みの関係にある。保育園児との交流、小中学生の職場体験を受け入れたりと子どもと触れ合う機会もあり、地域に溶け込んでいる。更に組合員以外の地域住民にも認知症の理解や支援方法を知ってもらいたいとの思いから、1階のデイサービスで来年2月にホーム主治医による学習会を開催したいと考えている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2カ月に1回、家族代表、医師、地域代表、地域包括支援センター職員、管理者、2階責任者が参加して開催されている。会議ではホームや入居者の状況や様子、行事予定等を報告し、参加者から質問、意見、助言を受け、サービスの質の向上に活かしている。詳細が記入された議事録で家族や職員も情報を共有している。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 区へは各種届けの提出を行い、何か相談ごとや問い合わせ、状況報告は名古屋介護指導課へ出向いたり電話をかけている。スプリンクラーの件も相談に乗ってもらっており、顔馴染みの関係にある。県の認知症グループホーム連絡協議会にも加入している。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年3回家族会講習会が開催され、約半数の家族が参加している。ホームの様子を伝え、家族からの意見や要望を聞いたり、家族が介護の困難さを共有できる交流の場ともなっている。この場で非常勤職員の定年延長の声があがり、交渉につながった。「虹の箱」という意見箱を設置したこともあるが利用はなく、家族とは面会時にコミュニケーションをとっている。毎月発行のホーム便り「すずらん」に担当職員が入居者の様子を記入し、ホームの行事予定や金銭出納帳、領収書と共に送付している。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。